

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人 環境ネットやまがた		
事業名	豊かな森づくりと次世代自動車普及推進で進める 山形らしい地球温暖化防止活動事業		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1,342,409 円
		うち助成金額	1,299,000 円

■ 事業目的

2015年に採択された地球温暖化対策に係るパリ協定では、価値観や技術の革新が必要とされるとともに、吸収源である森林の保全が急務であるとされている。本県は、県土面積の72%の豊かな森林に恵まれている一方、安価な外材のために利活用や整備が進んでいない現状にあり、また、世帯当たりの自動車保有台数が全国1、2位と燃料消費によるCO₂排出量が多い特徴がある。そこで、この事業では、次世代自動車の普及と森づくりの大切さを学び体験することで、山形らしい地球温暖化対策を推進することを目的とし実施した。

■ 実施内容

①森林体験活動

一般の親子や電気自動車のユーザーを対象に、やまがた絆の森「ニッサンの森」をフィールドに、森づくりの大切さや森に親しむ体験活動を実施した。また、会場までの移動に、電気自動車の試乗体験を実施した。

体験活動「もりのふしぎをさがしてみよう」

- ・場所 山形県朝日町大字白倉地内
(やまがた絆の森「ニッサンの森」のフィールド)
- ・開催日 令和元年9月14日(土) 9:30~15:30



②急速充電器

県庁前に設置されている急速充電器を管理・運営し、ホームページで利用状況を公開した。



■ 事業の成果及び今後の展望

電気自動車等の次世代自動車を普及していく必要があるが、自動車の製造から廃棄までを含めた場合、CO₂排出量をゼロにすることは困難である。そこで、本事業のように、並行して森づくり活動などを実施することで、そのCO₂をオフセットすることができると思う。そのように合わせて取り組むことの意義も広めていきたい。

また、現在は電気を作るにも火力発電所でCO₂を多量に排出しているが、バイオマス発電等、CO₂排出量の少ない電気の普及についても考えるセミナー等を企画したい。

当法人は県内各地で次のような活動を行っています。

- ・山形県地球温暖化防止活動推進センター業務
- ・山形県環境保全協議会事務局
- ・エコアクション21の普及
- ・環境学習の推進 など

Webページにて団体の活動などを掲載中！

◆当会のホームページ <http://eny.jp/>

◆当会のフェイスブック <https://www.facebook.com/kankyo.net.yamagata/?ref=hl>

